

たののの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒 781-6410 高知県安芸郡田野町 1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 大介
(題 字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com> E-Mail: info@usui-kai.com



芝焼き (岡山県) 撮影者: 岡崎 裕行 様

新年のご挨拶

皆様、明けましておめでとう
ございます。昨年も皆様か
らたくさんのご支援やご協力
を頂き誠にありがとうございました。

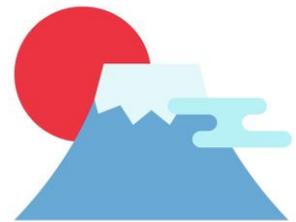
本年も感染症の話題は避け
て通れず昨年末からはインフ
ルエンザが大流行です。新型コ
ロナウイルス感染症流行初期
にはマスク、手洗いが徹底さ
れ、それに伴いインフルエンザ
ウイルス感染症はすっかり、
なりを潜めておりました。マ
スク、手洗いが徹底されると
こんなにもインフルエンザ対
策に有効なのだと思えて感じ
たものでした。しかし、喉元す
ぎればなんとやら、最近は大
スク着用などの感染対策が国
を挙げて緩める方向に。数年
間インフルエンザが流行らな
かったこともあり、集団免疫
も低下、ワクチン接種の低下
なども相まって今回の大流行
です。やはり感染対策は大切
です。感染症はかからないこ
とが何よりで、高齢の方にと
り危険なことはもちろんの
事、若い方の重症例も出てい
ます。皆様方におかれまして

理事長 白井 大介

は反マスク、反ワクチンなどの
情報に惑わされることなく専
門家の意見に耳を傾けて頂け
ればと存じます。ただ、SNS
などでは医師や医療従事者を
名乗るものが反感染対策を訴
えていたりもしますので嘆か
わしくもあり、情報の取捨選
択が難しい時代になりました。

さて、今年には田野病院 40
周年の年になります。今まで
の良き伝統を引き継ぎ、変え
るべきところは変えて、職員
一同が力を合わせて地域から
はあつて良かったと思われる、
職員からは働いて良かったと
思われる病院づくりを続けて
まいります。そして県東部の
中核病院として地域を支える
ことはもちろんの事、職員一
人一人が学びを深め医療人
としても社会人としてもさら
なる成長の年になるよう努め
てまいります。

最後になりましたが、皆様
にとりまして幸多い一年であ
りますように心からご祈念申
し上げます。本年も田野病院
をどうぞよろしくお願ひ申し
上げます。



新年あけましておめでとうございます。

昨年の正月は能登地震災害や羽田空港衝突事故など犠牲者が出る 2024 年の幕開けでしたが、今年は晴天に恵まれ私的には穏やかなお正月でした。コロナの5類感染症移行以後は様々な感染症が増加しています。インフルエンザも昨年末より増加し、より感染対策をこころがけようと思っています。

さて今年巳年(蛇年)です。ヘビのイメージは毒蛇などの怖い感じや不気味な苦手意識をもつ人も多いかと思いますが、脱皮をするヘビは復活、再生を連想し、災害復興、アフターコロナにおける良い年になる事を切に願う次第であります。

また医療とヘビも因果があるんですね。ギリシャ神話における医神アスクレピオスは蛇毒を薬に用い、片手に持つ杖にはヘビが巻き付き“アスクレピオスの杖”と呼ばれ医療のシンボルマークとしてよく使われています。またアスクレピオスの娘ヒュギエアは健康と衛生を司る女神でヘビを従え左手に杯を持ち“ヒュギエアの杯”が薬学のシンボルとして用いられています。また漢方の反鼻(はんび)という生薬もマムシから取れる生薬でよく滋養強壯として使われていますね。

金運もアップするようなので明るい年になればいいなと思います。皆様に幸あるように！



副院長 兼
小児科部長
島崎 洋成

新年、明けましておめでとうございます。

2024 年 10 月より副院長を拝命いたしました脳神経外科の井川直樹です。安芸医療圏の地域医療、脳神経外科診療全般、物忘れ外来、頭痛外来などに力をいれてこれからも一層頑張っていきますので皆さま、宜しく願いいたします。

私事ですが昨年は6月頃より左腕と頸部のしびれ、痛みに苦労いたしました。頰椎症性神経根症と自己診断し鎮痛薬やマッサージなどでの対症療法で様子を見ることとしました。

趣味のゴルフのスコアもどんどん悪くなっていきラウンド数も減らして運動不足になってしまいました。患者さんのあちこち痛いと言われる訴えが身に染みて痛感いたしました。これからは更に親身になって診療に従事しようと感じる毎日でした。身体のどこかに痛いところや不調などところがあると毎日の生活や趣味にも意欲がわきにくくなるのがよくわかりました。11 月頃よりようやく症状が軽減してきて現在はすっかりよくなりました。2025 年は体調を万全にして診療や趣味に打ち込んでいきたいと考えていますので本年もよろしく願いいたします。頭痛やめまい、物忘れなどにお困りの時は気軽に当科へ相談してください。皆さまとご家族のご健勝、ご多幸を祈念して新年のあいさつとさせていただきます。



副院長 兼
脳神経外科部長
井川 直樹

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

元日は、帰省してきた家族たちと恒例の初日の出に行ってきました。天候に恵まれて綺麗な日の出を見ることができましたが、大晦日に大阪から帰ってきた弟の体調が優れず、ひとり欠席となってしまい残念でした。

全国的にインフルエンザや新型コロナが流行し、年末年始は多くの救急病院が大変混雑したようですが、当院も例外ではなく、今までに経験したことがない程多くの患者さんが受診に来られていました。インフルエンザに関しては国民の多くが免疫を持っていないことが要因とのことですが、思いがけず重症化してしまうこともありますので、引き続き感染対策や予防接種は大事です。新型コロナが流行したときに感じた「周りの人が健康であること」「人と人が直接触れ合えること」の大切さ、有り難さをあらためて感じたお正月でした。まずは自身の健康を保ち、しっかり職務を全うできるよう努めて参ります。

最後になりましたが、昨年も多くの皆様にご協力、ご支援をいただきました。深く感謝申し上げます。皆様が健康で、素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



事務長

吉松 誠爾



経営企画部長
総務課長

安岡 将一

明けましておめでとうござい
ます。今年も一日を大切に、
職員皆と一緒に「凡事徹底」に
努めます。本年もよろしくお
願い致します。



看護部長

岡本 直樹

新年あけましておめでとう
ございます。当院の理念「共
生」のもと、地域と共に支えあ
い、選ばれる看護を提供でき
るよう努めてまいります。本
年もどうぞよろしくお願申し
上げます。



副看護部長

岡林 純賀子

新年あけましておめでとう
ございます。今年も旧年、新し
い看護部がいろんな意味で古
い皮から脱皮し、成長できる
年にしたいです。皆様よろし
くお願いいたします。



西病棟／師長

西尾 真実

あけまして、おめでとうござ
い。笑顔と思いやりの
心で、職員それぞれが専門性
を生かしながら他職種連携
し、医療・看護の提供をしてい
きたいと思えます。



回復期リハビリテ
ーション病棟／師長

外京 由美

優しく温かい看護を提供
し、患者さんが笑顔で入院生
活が過ごせるよう思いやりの
ある対応ができる部署を目指
します。



外来・中材手術部/
師長

西岡 美幸

明けましておめでとうござ
い。信頼と安心を実現させられる
よう、医療・看護を通じて地
域医療に取り組んでいきます。



リハビリテーショ
ン部／部長

細田 隆之

明けましておめでとうござ
い。旧年は「成長」と「変
化」を象徴する年とされ、地
域の皆さまの健康を支え、さ
らなる発展を目指して努力し
てまいります。



薬剤部／部長

斉藤 忠男

あけましておめでとうござ
い。弁財天の使いである「へ
び」にあやかって福多き一年に
なるよう精進していきます。



放射線部／部長

中石 宇俊

誰もが安心して検査をうけ
られるよう思いやりをもって
接し共生を目指します。また
新しく肺ドックCTを始めま
した。非常に低線量となってい
ますので早期発見、数年に一
度撮影してみたいかががでし
ようか。



臨床検査部／部長

水原 世起

患者さんにとって検査の時
間が有意義であるよう、優し
い笑顔と丁寧な対応をスタッ
フ全員で心がけていきます。



地域医療連携室/
室長

今井 恵美

地域での生活を続けていく
ために、患者さまに「安心」を
提供できる地域医療の窓口と
して、支援の質向上に努めま



栄養部／主任

小松 華子

あけましておめでとうござ
い。栄養管理と食事提供
により、患者さんの健康に寄
与できるように今年も頑張っ
ていきます。



医事課／課長

佐古 拓斗

患者さまの請求業務だけ
なく医事課のプロとして向上
心を持ち勉強し、サービス提
供していくことに努めていき
ます。



サービス提供責任者

岡崎 修仁

利用者の皆様が安心して楽
しく過ごす事が出来るような
サービス提供を目指し、スタッ
フ一同一丸となって努めてま
いきます。



訪問リハビリテーションの/
サービス提供責任者

池内 昭友

介護サービスが不足してい
る東部地域において、貢献で
きるように微力ながら頑張っ
ていきます。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)2024in 高知

参加しました!!

【代表コメント】

リレー・フォー・ライフというイベントをご存じでしょうか。がん患者やご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い立ち向かうといった目的で開催されるチャリティ活動です。

1985 年、がん征圧のチャリティとしてアメリカの医師が陸上競技場を 24 時間走り続けて寄付を募ったことが始まりです。今では 1 年を通じて 34 カ国、国内 50 カ所の地域で患者、家族友人、医療従事者、企業や地域の方など仲間任意でチームを組み、リレー方式で 24 時間歩き続けるといった活動が行われています。

高知でも毎年行われており、昨年は 10 月 5 日 12:00～6 日 12:00 の期間で春野運動公園にて開催されました。

田野病院スタッフからも個人で各々チームに参加してきました。地域の皆さんやがん患者さんとそのご家族なども一緒に、病気に立ち向かう共通の目的を持った仲間として交流を深めることができました。この貴重な経験を活かして、今後も高知県東部をはじめ地域の皆様に安心な医療サービスを提供できるよう努めてまいります。

【参加者コメント】

高知で RFL が初めて開催されたのが 2008 年、私は 2 回目の 2009 年から参加しています。かれこれ 15 年、なぜ参加し続けているか。それは、看護学生の時のがん患者さんとの出会いが自分の看護師人生を築く原点となっていて、RFL が看護師としての自分を律する大切な場所となっているからです。

年に 1 回、これまで RFL で出会った皆さんとの再会を祝い、お別れた友をしのび、そして病気に立ち向かいながら、がん撲滅を願い 24 時間タスキを繋いできました。

これからも、RFL は人生の大切なイベントとして参加し続けたいです。

看護部副看護部長 岡林純賀子

自分の所属している高知県 診療放射線技師会でチームを組み、初めてこのイベントに参加しました。当日は 4～5 人のリレー形式でウォーキングをしながら、一方で放射線の歴史や放射線技師業務の紹介、画像検査や放射線治療に対する医療被ばく相談などの企画ブースを立上げ、参加者や来場された地域の方も興味津々で立ち寄って下さいました。

半日の参加でしたが、悲鳴を上げた下半身で運動不足を痛感したとともに、それを感じさせない参加者の皆さんの元気とパワーに圧倒され、自分が勇気づけられたイベントでもありました。看護師の岡林大先輩に負けないよう(?)、来年は 24 時間完走を目指します。

放射線部放射線技師 山本隆信

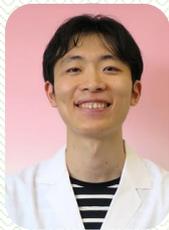


地域医療研修

令和 6 年度

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた研修医の先生をご紹介します。

- 01 今回の研修で学び得たことを教えてください。
- 02 研修中、一番印象に残ったことがあれば教えてください。
- 03 指導医、職員の印象を教えてください。
- 04 今回の研修を経て、改めて、どのような医師をめざされますか？



濱崎麟太郎 研修医

(国立国際医療研究センター病院)

研修期間

令和 6 年 10 月 7 日～11 月 1 日

出身地：横浜市

出身大学：東京大学

趣味：ランニング、
ご飯、映画

- 01 多職種・多施設連携の重要性および、地域の高齢化の現状を肌で体感することができました。
- 02 院長先生がお誕生日のリコーダーを自ら演奏されているところが印象的でした。患者さんもとても喜ばれているのではないかと思いますし、地域ならではの光景かと感じました。
- 03 皆様本当に温かく、すれ違った時にも必ず挨拶をしてくださり過ごしやすいかったです。ご多忙な中でも時間を作って教えてください多量の学びを得ることができました。
- 04 一医療人として今回の研修で学んだ地域医療の課題を忘れず、問題意識を発信できそうな場があれば、それを共有していくことで日本の医療にも貢献できるような医師を目指します。



たのたの 楽楽けんこう隊

安全な運転と東部の移動サービス

令和 6 年 10 月 25 日 (金) 11:00～12:00

リハビリテーション部 森本一洋作業療法士



高齢ドライバーによる交通事故が昨今ニュースで取り上げられる事が増え、2017 年の改定道路交通法から 75 歳以上の高齢者免許更新時には認知症検査が義務づけられました。加齢に伴い視野、判断力、筋力等身体機能の変化が起こるとされ、視野においては運転中の注意できる有効視野が狭くなり、20 代と 60 代で比較すると 1/3 程度になると言われています。また判断力と筋力に関しては、特に 60 歳を境に急激な低下が起こり、全体の 30% 程度の能力低下が生じると言われています。

中芸地域の高齢化率は 44.3%、室戸市は 51.4% と高い高齢率であり、また高知市内の一部以外、交通手段が整っていないため自動車依存率が高くなっています。通院・買い物などの日常生活を行うためにも移動手段の維持は必要であると考えます。しかし、高齢になれば視野や判断力、身体能力の低下は免れません。

そのため当院では加齢に伴う身体機能を正しく把握してもらうため、ドライブシミュレーターを導入しました。

自分の運転や家族の運転に不安ある方は是非、もの忘れ外来への診察をお勧めします。

”健康で安全なより良い人生をおくるための一助になれば”



栄養と運動

令和 6 年 11 月 22 日 (金) 11:00～12:00

リハビリテーション部 山中孝訓言語聴覚士
松田彩理学療法士

温泉利用運動プログラム

令和 6 年 12 月 27 日 (金) 11:00～12:00

リハビリテーション部 宮田千華理学療法士

令和 6 年 医療法人臼井会 大忘年会

～忘年会はじまるよ！はいよろこんで～

12月13日にホテルタマイにて忘年会を開催しました。昨年は感染症流行により延期となりましたが、今回は予定通り開催することができ、200名を超える参加者同士が1年の労をねぎらい、親交を深めつつ大いに盛り上がりました。

忘年会では、冒頭で「感謝された(褒められた)部署」「感謝を伝えた(褒めた)部署」をそれぞれ表彰しています。現在、年間400件近くの感謝の言葉が伝えられており、すべての職員がその内容を確認することができます。ひとつひとつに目を通すたびに、素晴らしい職員がたくさんいることを誇らしく思いますし、利他の精神の大切さを改めて感じる機会になっています。これからも、このような表彰を続けていきたいと思えます。

事務長 吉松誠爾



あいさつ



よさこい



余興



大抽選会



一本締め





忘年会に合わせ、2024 年サービス向上委員による、部署・職員 MVP 表彰が行われました。

今回の部署 MVP は、職員の声広場(職員・患者様からの良かったエピソードを掲示板に報告)に上がった、特に褒められた3部署、また他部署をよく褒めた3部署のとなっています。

部署 MVP

職員 MVP は、在宅・保育は関係者からの相互評価となります。

褒めたで賞

- 1 位 地域医療連携室
- 2 位 総務課
- 3 位 外来・中材手術部

褒められたで賞

- 1 位 西病棟
- 2 位 リハビリ部
- 3 位 外来・中材手術部



職員 MVP (特別賞)

- 在宅賞 山本 綾菜
- 保育賞 高橋 実佐樹

回復期リハビリテーション病棟 クリスマス会 2024

レクリエーションの一環として 18 名の患者さんとクリスマス会を行いました。まずは体操をして体を温め、次は音楽に合わせて回していくプレゼント交換も行いました。中身はスタッフ手作りの素敵なキーホルダーでした。そして最後は武林先生、リハビリスタッフ、看護師によるハンドベルです。「ジングルベル」「上を向いて歩こう」の 2 曲を演奏してくれました。心癒される音色で、みんな笑顔でクリスマスを楽しむことができました。

回復期リハビリテーション病棟師長 外京由美



【青のり香る大根もち】

栄養部 管理栄養士 塩田雪月

❖材料(5 個分)

エネルギー480kcal たんぱく質 10g 塩分量 1.8g

- ・大根 1/2 本(500g)
 - ・ベーコン 4 枚
 - ・ごま油 大さじ 1/2
 - ・ポン酢 お好みの量
- | | | |
|---|----------|---------|
| A | 青のり | 小さじ 1.5 |
| | 鶏ガラスープの素 | 小さじ 1 弱 |
| | 薄力粉 | 大さじ 3 |
| | 片栗粉 | 大さじ 3 |

❖作り方

- ①大根をすり下ろして水気を絞る。ベーコンは 1cm 幅に切る。
- ②①と A をボウルに入れてこねた後、5 等分して丸く形成する。
- ③フライパンにごま油に引いて、②がきつね色になるまで焼いたら出来上がり。(お好みでポン酢をつけてもおいしいです。)

❖ポイント

大根と青のりを使ってヘルシーで香りも楽しめるお餅に仕上げました！普通のお餅よりも糖質が控えめですがもちもち感はしっかりあります◎大根には消化を助けるのアミラーゼを豊富に含まれていることから胃もたれ予防に効果的です。材料もそんなに多くないのでぜひ作ってみてください！



寒い時期だからこそ体力をつける



臨床検査部 瀧渦慎哉検査技師

新年あけましておめでとうございます。新しい1年が始まったと思っていたら、早くも1年が終わり、新しい1年が始まってしまいました。本当に時の流れというのは早いものだと身をもって感じています。

さて、1月に入り寒さも増すなかで皆さんはどのようにお過ごしですか？私は年末年始に忘年会や新年会または親戚や友人、職場の人たちとの集まりなども増えて食事会や飲み会などの機会が多くなったので、少し運動をする機会が増えたんじゃないかなと思います。(たぶん笑…)

冬場に運動を始める時は寒い上に全身が凝り固まって少し苦痛と感じますが、いざ動いて身体を温めてみると丁度良くて、運動に集中し過ぎてしまいやり過ぎてしまうことが度々あります。(苦笑)

これを期に皆さんも昔やっていたスポーツやウォーキング、筋トレなどの軽い運動を体力作りまたは肥満予防のためにも、この冬から始めてみませんか？



研修報告

12月20日に、当院でフットケア研修を実施しました。講師に岡村病院救足センター主任で、血管診療技師、弾性ストッキング・コンダクターでもある岡林裕代様をお招きし、患者様の足の健康を守るための基本的なケアから、臨床現場での即実践できる技術まで、幅広い内容をご指導いただきました。

参加したスタッフからは、「現場での疑問が解消された。」「新しい知識を学び、より良いケアを提供する自信がついた。」といった声が多く寄せられ、大変有意義な研修となりました。また多くの参加者から第2回開催の希望が寄せられなど、学びの意欲も高まっています。

当院では今後も患者さまの安全と快適さを第一に考え、職員のスキル向上に努めてまいります。

看護部長 岡本直樹



編集後記

明けましておめでとうございます。
皆さんお正月はどのようにお過ごしでしたか？
私は「今年は新しいことを3つ始める」という緩い目標をたててみました。
2025年が皆さんにとって良い年となりますように祈念いたします。

外来看護師 岡村真紀子

新
人
紹
介
味 所属 職種 出身地 趣
張 特 技
頑 張 っ